

第6回 『荒しろかき、ヤマザクラ植樹』

と き 2012年5月5日(土) 8:30 - 17:00

ところ 谷っ戸ん田、作業小屋前のハウス、直売所裏竹林

天 気 晴れ

参加者 石田、磯、梅下早苗、霧生、久保、坂本、佐々木利江・優聖、高田裕司・直子(途中中抜け)、高橋、松下、松本純(14時まで)、園主 計14名(子ども1人含む)

【午前】 荒しろかき

- ・ 8時半に集合。早朝に園主が水入れ、満つる前にくろつけをしてその後荒しろかきを予定していたため1時間早めの集合とした。が、思惑通り進まず、動き出したのは9時半頃になってしまった。
- ・ ここ数日の大雨で水が溜まるのが早かったので、先に、荒しろかきをすることに。
- ・ 肥料投入。グアノ(リン酸肥料)20kg×3袋、配合肥料(中川水稻2号、1袋あたり1.6kg/N・2.0kg/P・2.2kg/K)20kg×3袋。肥料散布カゴ2こ使用。
- ・ 水面から出ている土を均す。鍬4丁、ジョレン2丁を使用。
- ・ 管理機A(三菱製)のタイヤをカゴ車に換え、園主が「輪っかアタッチメント」に試乗するも田んぼが平坦でないためうまく進まない。輪っかをヤツ刃に換えた。
- ・ 管理機B(ホンダ製)も用意して2台の管理機で2回往復する。

【お昼】 11時50分より昼食。

【午後】 荒しろかき続き、苗箱の移動

- ・ 荒しろかきと苗箱移動組に分かれる。
- ・ 苗の生長が早く2週間後の田植え時には伸びすぎの心配がありハウスより苗箱を移す。作業小屋水道前にブルーシートを敷き、苗箱を置く。大と小、2台の4輪車を使用。
- ・ モチ苗で発芽しなかった場所に他の苗箱のものを移植して、箱を2枚減らした。
- ・ 散水、終了間際には園主に確認の上で白のメッシュを被せる(蒸散防止)。

ヤマザクラの植樹

- ・ ヤマザクラのポット苗10本(7,500円)用意する。他に資材は、広場前の堆肥(6袋分)、支柱、スコップと鍬を一輪車で運ぶ。
- ・ 植樹場所は直売所裏の竹伐採跡、枕木側に3本、ハウスの裏側に7本とする。植え方は、穴掘り、植樹、堆肥投入、土を被せて支柱を建て紐で結んだ。ペンキ缶1缶分ずつ水遣り。
- ・ 手前のハウスに近い方に植えた5本について、園主より、大木になったときの始末を考慮して、遠くへ移動するようにとの指導があり、1週間後に山の上のほうに移植することになった。
- ・ タケノコを約30個掘り山分けした。高田さんよりシナチクの作り方を教わり挑戦することに。

--シナチクのレシピ by Takada--

1. ゆで筍800gは4~5cm長さに切り、繊維に沿って5mm~1cm幅の薄切りにする。
2. 切った筍を重ねないようにざるに広げ、重量が半分になるまで1~2日間天日に干す。
3. 干した筍をさっと洗って水気を絞り、サラダ油を熱して中火で3~4分炒める。
4. 酒カップ2分の1を加えて少し煮詰め、水1.5カップ、鶏ガラスープの素小さじ2分の1、醤油砂糖各大さじ2、酢大さじ1を加え、時々かき混ぜながらほとんど汁気がなくなるまで15~20分、中火で煮る。
5. ごま油大さじ2分の1を加え、火を止めて冷まし、密閉できる容器に移す。辛いのが好みなら、ごま油と一緒にラー油小さじ2分の1~1を加えるか、一味唐辛子少々を加える。

作業時と終了ミーティングの時、園主よりいくつかの注意があり、その内容を記録する。

- 1 . 分からないことは勝手に判断せず、確認、教わること。特に年に1度の作業は園主と連絡を取り合い進めるように。
- 2 . 機械操作には汚れた手袋で触らない。
- 3 . 機械のそばに他者は寄らない、怪我の元、安全には特に注意すること。

次回(5月12日)の作業予定：畦のくろつけ、本しろかき、尾根畑の草刈、ヤマザクラ移植
次回の記録者は、藤田さんを指名。

(記録：Hi -lucky takahashi)